

いつもお世話になっております。

今月分の請求書を送付いたしますので、何卒御査収のほどよろしくお願い申し上げます。

いつもありがとうございます。

梅雨があけて一気に蒸し暑くなりましたが、皆様はいかがお過ごしでいらっしゃいますか。蝉の声も日増しに大きくなり、夏本番を知らせてくれているようです。

夏の季語に「油照(あぶらでり)」という言葉があるそうですが、字面からしてかなり暑そうです。

じりじりと日が照り、顔が汗と油分でテカテカになっているような場面を想像しますが、辞書によると、「うす曇りで風がなく、むし暑い日をいう」・・・そうです。

その他にも、暑さをあらわす言葉としては

薄暑、大暑、酷暑、酷熱、炎暑、炎天、炎ゆ、炎屋、炎熱、盛夏、夏旺ん、風死す、溽暑、劫暑、甚暑・・・などがあります。

「風死す」は、炎天下のアスファルトの上でじりじりと照らされながら、「せめて風でも吹けば、少しはマシなのに!!」と、朦朧となっている様子が目に浮かびます。

「溽暑(じょくしょ)」というのも、これまた蒸し暑そうです。汗と湿気でベタベタとするような暑さに顔がゆがんでいる様な文字ですね。

見えている風景や心情などを、言葉で説明しようとするほどに、本質から離れてしまうように思うことがありますが、短歌や俳句の様な短い文章の中で端的にありありと言い表すために、多様な表現が発達したのでしょうか。

このような画期的な言葉を最初に使った人は、「まさに、こういうことを言いたかったのだ!」と、胸がすく思いだったでしょうね。

気象用語では、最高気温が25度以上の日を「夏日」、30度以上の日を「真夏日」、35度以上の日を「猛暑日」、最低気温が25度以上の日を「熱帯夜」と呼びますが、なんだかしょくりこないように思います。お昼頃の気温が30度くらいだと「真夏日」というよりは、「今日はちょっと過ごしやすいなあ」と思いますが、夜も27度くらいなら快適でよく眠れます!(私だけでしょうか?)

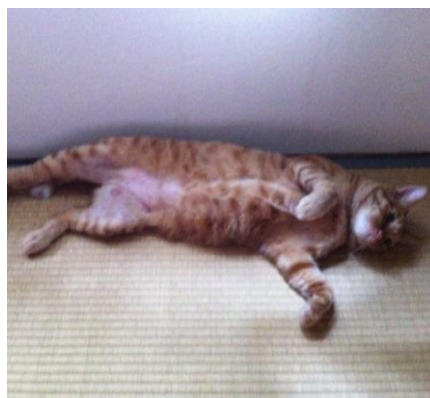
まだまだ夏はこれからです。皆様、くれぐれも体調を崩されませんように。この暑さを乗り切ってくださいませ。楽しい夏をお過ごしくださいませ。



てかてか光る椿の実。「油照」な感じです。



工事現場の温湿度計、赤いゾーンは危険。



猫的には、ここが一番涼しいそうです

株式会社ユニコーン
大阪市中央区大手通 1-1-2
TEL.06-6943-4560
FAX.06-6920-5311